



東南アジアにおける 森づくりオフセットの取り組み

- 1 住友林業の事業と海外植林
- 2 Project EARTH 住宅オフセット植林
- 3 ベトナム REDD+の取り組み

住友林業株式会社
山林・環境部
佐藤 裕隆

住友林業マスコット
きこりん



時代に応じた事業構造への組み換え

“木”のプロ集団が川上～川下の事業を世界規模で展開

1691年～ 山林事業

1950年～ 流通事業

1960年～ 製造事業

1970年～ 住関連事業





大造林計画と保続林業の始まり 住友林業

1881

旧製錬吹処之図



2003

製錬所跡全景



1691年(元禄4年)

別子銅山開坑、江戸幕府より周辺山林の立木利用を許可

1894年(明治27年)

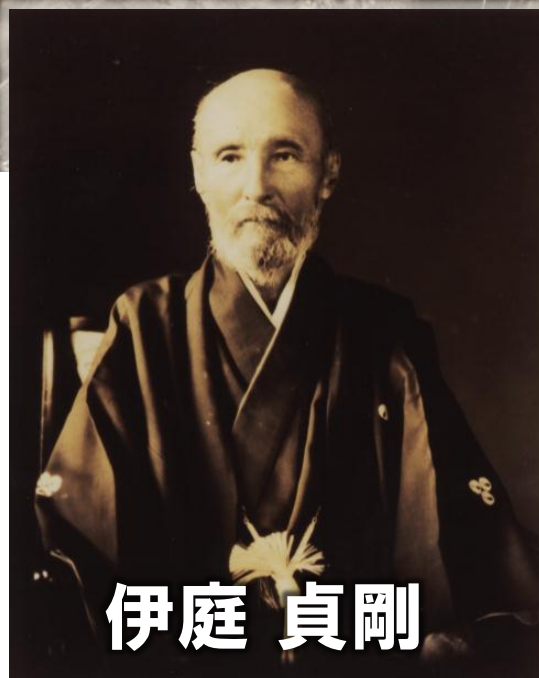
「大造林計画」を樹立木材の過剰伐採と煙害で荒れ果てた別子の山々を大規模な植林で復旧

国土報恩

1903年(明治36年)

民間初の「施業案(森林計画)」編成開始

→ “保続林業”理念確立

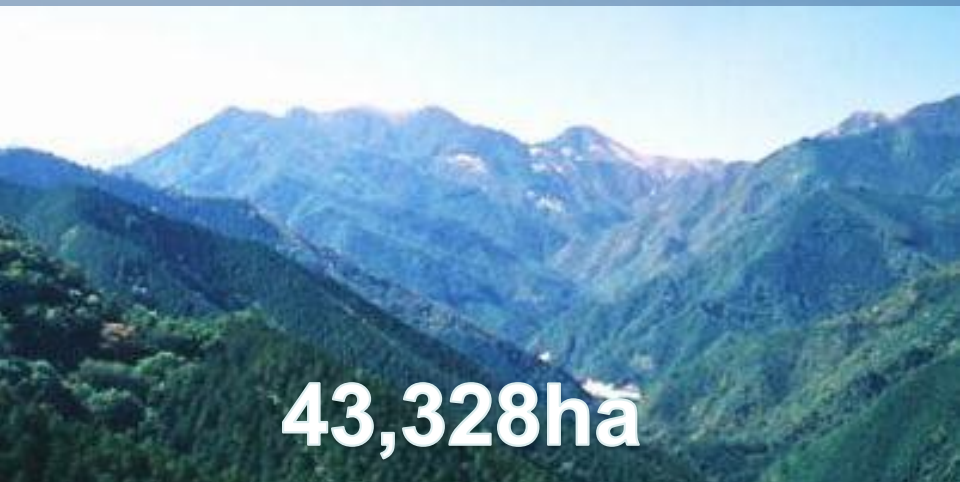


伊庭 貞剛



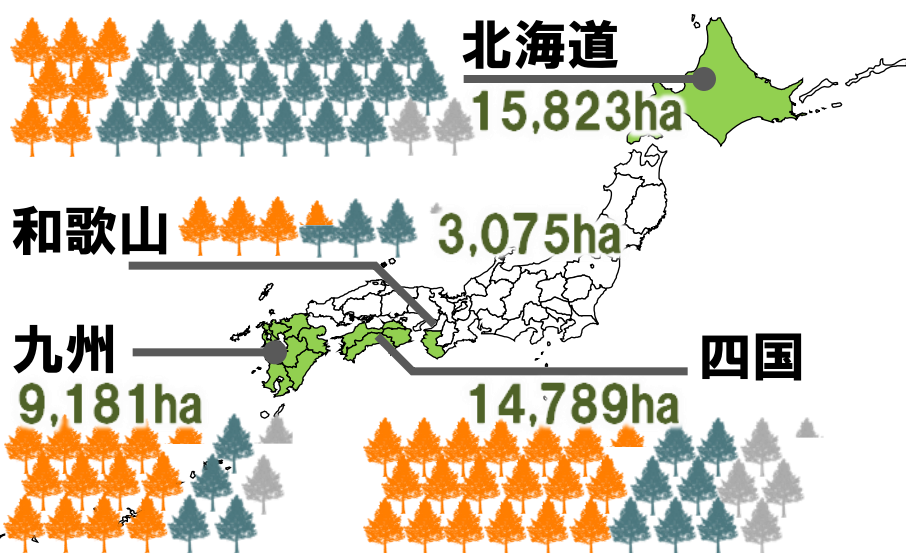
国内外での植林事業

日本国内の社有林



43,328ha

🌲=500ha 人工林 🌳 天然林 🌲 その他 🌲



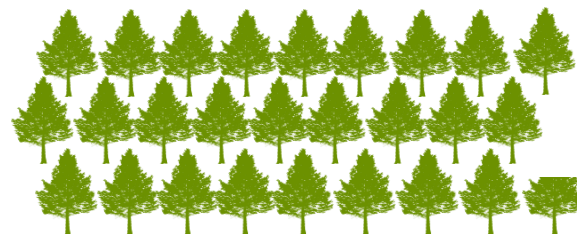
海外の植林事業規模



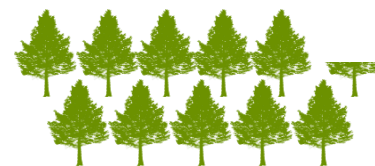
約200,000ha



インドネシア
155,600ha



パプアニューギニア
31,000ha



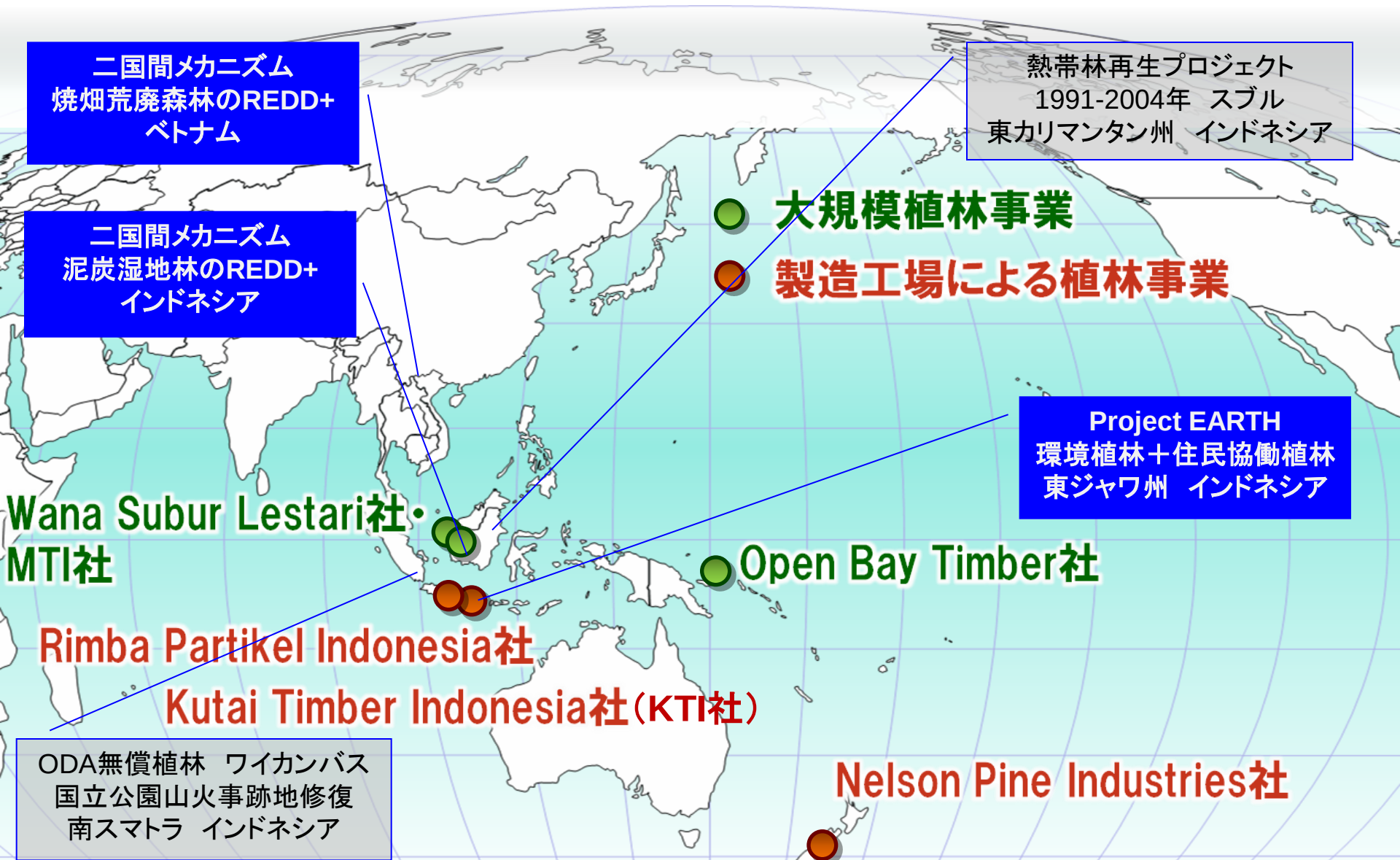
ニュージーランド
3,600ha



🌲=3,000ha



住友林業の海外植林





Project EARTHの森づくり

インドネシアでの植林を通じて、
住宅建築からの
CO2排出をオフセット





きこりと Project EARTH



環境植林＋住民協働型植林（植林後10年間管理）
→6ton-CO₂/棟×年間約10,000棟分をオフセット
年間植林面積は300ヘクタール

※年間引渡し戸数10,000棟として計算、東京ドーム約64個分



地域住民による社会林業: インドネシアKTIの事例

公社との契約: 2,000ha 社会林業: 13,000ha
(内FSC森林認証: 332ha → 1,005haへ拡大)

苗供給



5～7年の育林



木材買取保証



育林技術指導



製品化



1.5年生のファルカタ

代表的な植栽樹種 ファルカタ（南洋桐）

センゴンラウト Sengon laut

学名: *Albizzia falcataria*

4年生のファルカタ



マーケット

利益

収穫

Kutai Timber Indonesia社

- ・ 初期費用
- ・ 技術
- ・ etc...



住友林業

協働

植林・育林



The mark of
responsible forestry

Hadi Sengon ! (センゴンを植えて巡礼地メッカに行こう!)





Project EARTHがもたらすメリット

CO2の吸収固定

植林木の安定確保

地域の森林拡充・環境改善

地域住民の収入増加

雇用の増加・スモールビジネス

インフラ整備・地域の持続的な発展





ベトナム REDD+の取り組み

途上国の森林を保全する 新しいメカニズム構築への貢献

■REDD+実証活動 概要

- (1)位置 ベトナム北西部ディエンビエン省ディエンビエン郡 ムオンファンコミュニン内
- (2)実施期間 2013年8月～2015年8月
- (3)現地関係機関 ディエンビエン省農業農村開発局、ディエンビエン郡人民委員会、ムオンファンコミュニン人民委員会(以上、JICA「ベトナム北西部水源地域における持続可能な森林管理プロジェクト(SUSFORM-NOW)」カウンターパート機関)、ベトナム林業大学(住友林業委託先)
- (4)実証活動の内容 森林減少や劣化を防ぐためには、森林の保全や荒廃地への植林等による森林管理活動だけでなく、森林への過度な依存を減らす生計向上支援を総合的に実施することが必要。本実証活動では、森林を守る組織づくりと保全活動、植林、果樹や野菜の栽培支援、魚や家畜の飼育サポートなど、住民参加による総合的な取り組みを支援する。これらのREDD+活動をモニタリングすることにより、気候変動緩和策としての効果を農村レベルで実証する。



実証活動協力・連携

Japan International Cooperation Agency





ベトナムREDD+実現可能性調査

REDD+

Reducing Emissions from
Deforestation and forest
Degradation

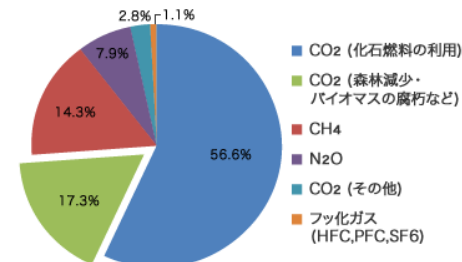
and the role of conservation, sustainable
management of forests and enhancement
of forest carbon stocks in developing
countries

森林減少・劣化による排出削減、森林保
全、持続可能な森林管理、森林炭素蓄
積の増強

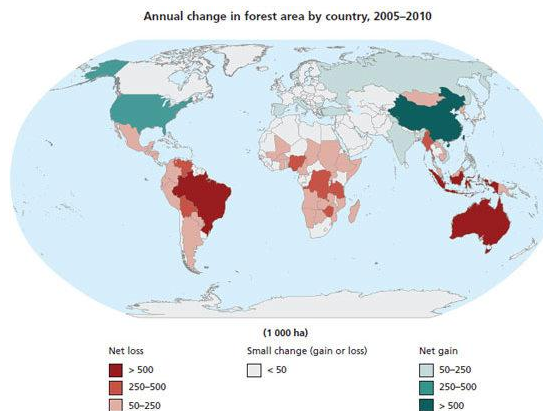


公益財団法人
地球環境センター
Global Environment Centre Foundation

温室効果ガスの**約17%**
が森林減少・劣化を含む
土地利用変化が原因



熱帯地域の森林減少や劣化が深刻
経済的に**豊かでない地域**が多い



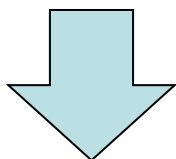
途上国の森林を保全するメカニズムが必要

環境省委託事業で公益財団法人地球環境センター(GEC)が
実施している「二国間クレジット制度の構築に係る実現可能
性調査」を受託し、調査を実施中。

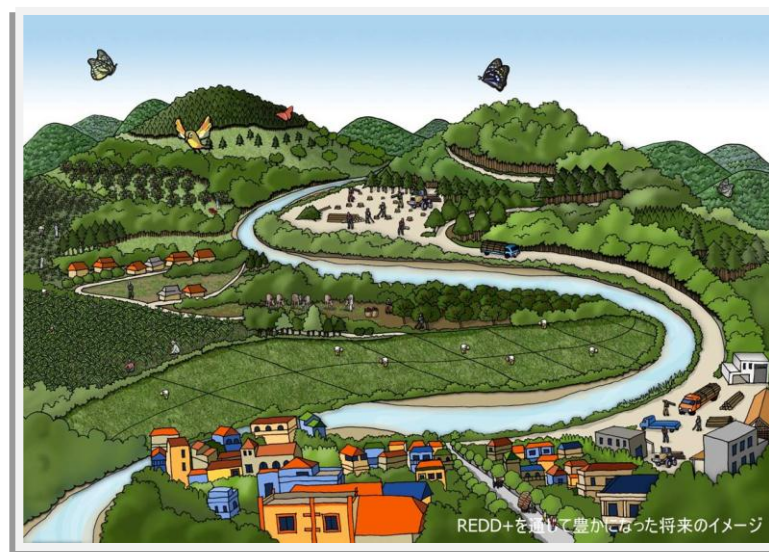


REDD+とは何か？

- 森林と共生する豊かな社会づくり
- 森林炭素という資産の管理



- 炭素クレジット
 - 多国間のメカニズム (UNFCCC)
 - 二国間のメカニズム (JCM)
 - 自主的なメカニズム (VCS)





実証活動サイト





ベトナムREDD+のアプローチ

実証活動

森林管理
プログラム

生計向上
プログラム

森林炭素
の管理

森林と共生する
豊かな地域づくり

測定(MRV)
システム





実証活動 村落ミーティング



村長宅に住民を集ってもらい、
どのような活動を行うか議論する

森林管理活動

生計向上活動



実証活動 村落レベルの計画作り





実証活動 森林管理と生計向上



屋敷林や果樹園支援

焼畑地での植林 森林保護活動



家畜飼育支援



淡水魚養殖支援



稲作や農業支援



地域行政機関や地域住民との絆づくり





REDD+実現に向けた 住友林業の取り組み



公益財団法人

地球環境センター

Global Environment Centre Foundation



住友林業

JCM実現可能性調査



実証活動協力・連携

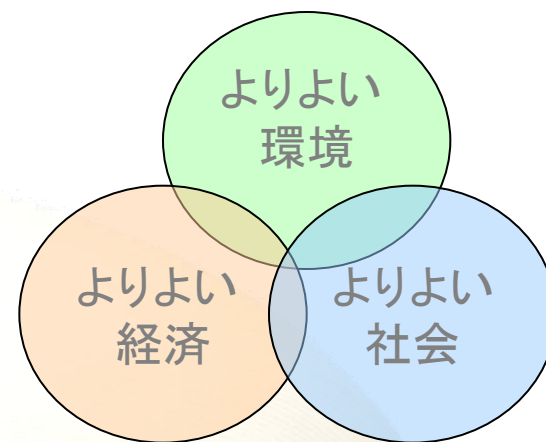
Japan International Cooperation Agency



実証活動と一緒に、森づくりオフセットの仕組みづくりに
貢献するパートナーを募集しています。



ご清聴ありがとうございました。



森のちからを
未来のちからに

森づくりでビジネスを強くする

商品力・提案力アップ
ブランドイメージ向上
顧客との関係強化
サプライチェーンの強化